

## 報道型ショート動画・コミュニケーションにおけるパース 記号論の援用について

劉超（東海大学文学研究科（2026年3月卒業）現在無所属）

### 発表要旨：

本報告はパースの記号論とメディア論の関係に着目し、中国におけるショート動画メディアの発展史を理論的に整理するアプローチを提案するものである。

2016年は中国のインターネット市場において重要な節目であった。それは抖音（Douyin；国際版:TikTok）と梨視頻（Pear Video）が相次いで登場したからである。この二つはいずれも「ショート動画メディア」と呼ばれているが、その性格はまったく異なる。前者は「ショート動画プラットフォーム」（ユーザーによる編集、公開に委ねられる）、後者は、メディア側による厳格な審査と統一的な編集・配信が行われることから、一般に「報道系ショート動画メディア」と呼ばれている。グローバルな関心は、TikTok ユーザーの拡大から抖音の動向に注目が集まりがちだが、梨視頻は報道コンテンツの制作モデルに際立った独自性を有し、「拍客」と呼ばれる投稿者を広く育て、伝統メディアのショート動画を用いたネット戦略の変革に大きく寄与しており、現代中国のジャーナリズムの「潮流」の形成にも相当の影響を与えている。

日本でも、中国のショート動画文化に関する関心は広がっているが、梨視頻が果たした役割に注目した研究はまだ少ない。「15秒」程度の尺で表現されるショート動画は、従来のメディアのあり方そのものを大きく変容させたが、特に報道・ニュース分野におけるオーディエンスの印象形成において、そのインパクトは大きなものがある。もちろんデジタル化された情報の制作と伝播は、新しい画像技術によって推進された視覚文化の飛躍であることは間違いないが、それは単にプラットフォーム上の「表現—解釈」関係に止まるものではなく、動画制作と受容の社会化の側面から分析すべき動向であると考えられる（于徳山, 2018）。すなわちそれを行うには、画像情報の形態、メディア組織、そして視覚伝播の文化的構造における変容を論じるための、射程の広い理論の援用が必要である。

現在、中国のメディア研究において、パース記号論の体系に注目が集まっている理由はその点にある。もとより記号の意味伝達に関する幅広い関心に対して、パースの理論は多くの有効なアプローチを与えてきたが、特にその三次元的論理は開放性と拡張性の観点から、コミュニケーション理論の産出に対しても大きな影響を与えた（劉超, 2025）。この特徴により、彼の記号学思想は動的な全体性を示し、結果として構造主義の枠組みを超越する性格を帯びている（趙星植, 2017a：101）。

この「記号過程」を「コミュニケーション過程」として捉える構図は、多くの中国の研究者に共有されている（趙星植, 2017b：263-264）。パースの「記号過程」（semiosis）が示す「①記号として働く何かある性質をもったもの（モリスの言葉で「記号物」という）②その記号が表意する対象があり③記号とその対象を関係づける解釈思想がある」という、各要因の三位一体的な関係は（米盛, 1981：27）、「ショート動画」についても適用可能である。特に流行的に広がった抖音の動向だけでなく、中国の伝統メディアも含むジャーナリズム体制全般に影響を与えた梨視頻の社会的役割を説明するために、本報告ではパースの「記号過程」を援用し、その極めて複雑なシステムを解き明かす切り口を示したいと考えている。

### 参考文献：

- 米盛裕二（1981）『パースの記号学』、勁草書房。  
劉超. (2025). 丹尼尔·布纽的“符号金字塔”——以“指示符号”为基底的图示理论. *Semiotic Education Studies*, 2(2), 14-26.  
于徳山（2018）. 新型图像技术演化与当代视觉文化传播. *现代传播: 中国传媒大学学报*, (4), 21-25.  
趙星植. (2017a). 论皮尔斯符号学中的传播学思想. *国际新闻界*, 39(6), 87-104.  
趙星植（2017b）『皮尔斯与传播符号学（Charles S. Peirce and Semiotics of Communication）』（中国符号学丛书，陆正兰，胡易容主编），四川大学出版社。